

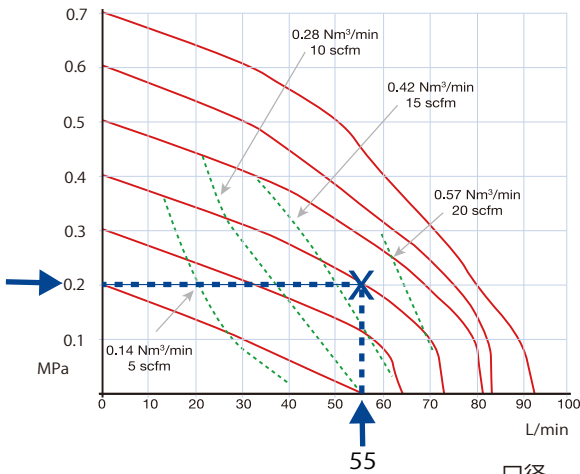
# 流量表の読み取り方

## Step 1

F13  
7" 径ダイアフラム

口径

1"



## 型式選定手順

- ① P19のポンプ流量・口径選定表より、ご希望の流量、吸入/吐出口径をもとにポンプ型式を選定してください。
- ② P5-6の流量表より、ご希望条件での必要最小供給エア圧力等を確認してください。
- ③ P17-18の型式選定表より、材質、アップグレードを選択してください。

選定条件例：必要な吐出量は 55 L/min  
背圧(吐出配管抵抗)は 0.2 MPa とします。  
例として、7"ダイアフラム (F13~) ・ 1" 配管口径の表を用います。

## Step 1 選定ポイントを決める

※選定ポイントとは、流量表における希望条件流量値と背圧値が交差するポイントです。

- ① 流量表の横軸 (L/min) 上で 55 L/min をチェック。
- ② そのポイントから真上へ縦軸の背圧 0.2 MPa と交差する点までたどる。
- ③ この交差する点が選定ポイントとなります。  
左表上では [X] と表示。

## Step 2 必要な最小供給エア圧力をチェック

- ① 選定ポイント [X] の上部にある一番近い赤い曲線をチェック。
- ② 赤い曲線を左上に辿り、縦軸の必要エア圧力を確認。
- ③ この縦軸上の赤い曲線の始点が示す数値が必要最小供給エア圧力です。

この場合、必要最小供給エア圧力は 0.4 MPa となります。

## Step 3 エア消費量をチェック

上から下にさがる緑色の破線がエア消費量です。  
この場合、選定ポイント [X] は 0.42 Nm<sup>3</sup>/min と 0.57 Nm<sup>3</sup>/min の破線の間にあるため、  
必要最小供給エア圧力 = 0.4 MPa、吐出流量 55 L/min 時の  
目安となるエア消費量は、約 0.45 Nm<sup>3</sup>/min となります。



背圧 = 0.2 MPa、流量 = 55 L/min が選定ポイントの場合、  
約 0.4 MPa の最小供給エア圧力が必要です。  
また、エア消費量が約 0.45 Nm<sup>3</sup>/min となり、  
ポンプ型式 F13~のポンプで流体の移送が可能です。

ワン・ナット・ポンプをより良い状態で長寿命でご利用いただく為、  
供給エア圧力は 0.3 MPa ~ 0.6 MPa にて稼働していただくこと  
をお勧めします。

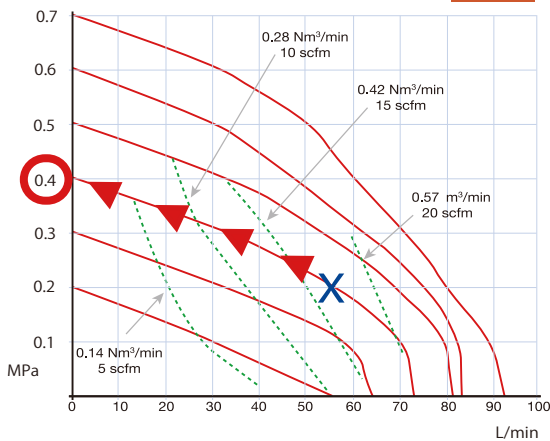
流量表にて、必要最小供給エア圧力が 0.3 MPa 以下だった  
場合は、もう一段階最大吐出量が少ない型式を、  
必要最小供給エア圧力が 0.6 MPa 以上だった場合はもう一段階  
最大吐出量が多い型式を選定してください。

## Step 2

F13  
7" 径ダイアフラム

口径

1"

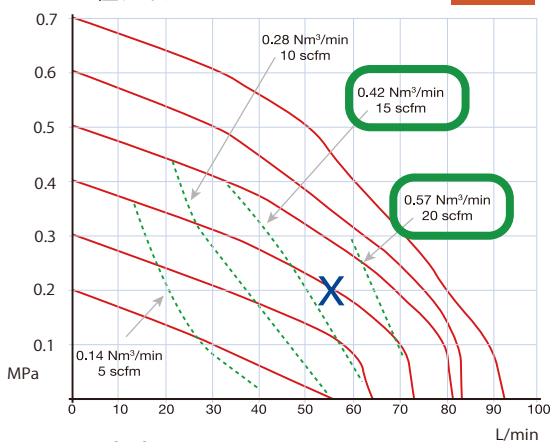


## Step 3

F13  
7" 径ダイアフラム

口径

1"



### ※ ご案内 ※

- ・ この流量表は  
常温の水を用いたポンプの移送試験により作成されています。
- ・ ご使用のエア設備環境により、各数値に相違が生じる場合があります。
- ・ ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。